

アクションプラン番号	1	区分	人							
テーマ番号	I－1	テーマ	教育							
アクションプラン (何を)	地域コミュニティの核としての全町学校統合による小中一貫校									
担当部署 (だれが①)	教育委員会	関連部署 (だれが②)	企画財務課							
実施場所(どこで)	小中一貫校	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン 戦略(どのように)	1. (こども園との一体化) 将来的に、老朽化している既存こども園を、新設小中一貫校の隣接地に設置し、一体的に運営する。 2. (まちの拠点化) この施設の周辺に、学童保育施設他、あわせてコンビニエンスストア、カフェなどの誘致及び学校図書室の町民への開放を検討する。また町民憩いの場となるコミュニティスペース（ティーサロン等）を作るなど、河内町の新しい地域拠点とする。それは公共的サービスを集約的に配置し、そこに行けば人と会えるような場所である「小さな拠点」（多世代交流・多機能型）として機能することを意図する。									
ビジュアルイメージ	 小中一貫校(平成 29 年 4 月開校)									
達成度指標	小中一貫校周辺のコミュニティスペース、カフェなどの小さな拠点施設数									
現状 KPI	0 か所		5 年後 KPI		2 か所		10 年後 KPI		3 か所	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	2		区分	人						
テーマ番号	I－1		テーマ	教育						
アクションプラン (何を)	先端的英語教育									
担当部署 (だれが①)	教育委員会		関連部署(だれが②)	－						
実施場所(どこで)	小中一貫校		対象者(だれに)	小中学生						
アクションプラン 戦略(どのように)	成田空港に近い地の利を生かし、新設する小中一貫校では、「英語」教育を強化する。小学校から英語に触れさせることで、国際社会に対応できるような下地をもった子どもたちを育てる。国際化の時代であり、成田空港は周辺も含め、海外からの観光客相手、ビジネス客相手等の多くの仕事が、今後ますます発展するものと予想される。英語教育を通じて、外国の方々とコミュニケーションができる国際人材を育成し、河内町に長く住んでもらえるような環境づくりを行う。 1. (英語専任教員の雇用) 小学校から英語専任教員を雇用する。 2. (中学生の英語海外研修) 好評であるハワイでの一週間の研修を続ける。 3. (英検受験支援) 英検受験費用を支援し、生徒の受験を奨励する。 4. (学習形態の工夫) 英語教育における ICT の活用や、歌やダンスなどを通じた語学教育を行う。 5. (こども園での英語教育) こども園でも、学校の英語専任教員等が訪問し、なるべく小さい時期から英語に触れる教育を行う。									
ビジュアルイメージ	 ハワイでの語学研修									
達成度指標	全中学生の英検 3 級以上合格者比率									
現状 KPI	14%		5 年後 KPI		22%		10 年後 KPI		30%	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	3		区分		人					
テーマ番号	I－1		テーマ		教育					
アクションプラン (何を)	ICT 教育の強化									
担当部署 (だれが①)	教育委員会			関連部署 (だれが②)		－				
実施場所(どこで)	小中一貫校			対象者(だれに)		小中学生				
アクションプラン 戦略(どのように)	住民アンケートからも、ICT 教育への期待感は大い。PC・タブレット・スマホなどの ICT 機器を日常的に教育活動の中に取り入れるため、小中一貫校の新校舎の建設と合わせ、これまでの旧校舎では導入できなかった PC はじめ ICT 機器を導入し、ICT 教育の強化を図る。 1. (ICT 環境の整備) タブレット端末やデジタル教科書など、ソフト、ハード両面からの環境を整備する。 2. (教職員のスキルアップ) 整備した ICT 環境を有効に活用するため、教職員のスキルアップを図る。 3. (英語教育との連携) 英語教育と連携し、ハワイなど海外の先生や生徒とのテレビ電話による遠隔地を結ぶ双方向授業を行う。クラウドや ICT により、海外とダイレクトにつながることを児童・生徒たちに実感してもらう。									
ビジュアルイメージ	 タブレットを使った I C T 教育									
達成度指標	ICT を活用した授業の実施割合									
現状 KPI	統計なし		5 年後 KPI		5 0 %		10 年後 KPI		8 0 %	
開始時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
時期(年目)										

アクションプラン番号	4		区分	人						
テーマ番号	I－1		テーマ	教育						
アクションプラン (何を)	職業教育を含めたキャリア学習									
担当部署 (だれが①)	教育委員会		関連部署(だれが②)	－						
実施場所(どこで)	小中一貫校		対象者(だれに)	小中学生						
アクションプラン 戦略(どのように)	職業体験学習については、住民アンケートからも期待が大きい。河内町に合った職業体験学習のプログラムを開発し実行する。 農育（米づくり他）、食育、花育、フィルムコミッションのエキストラ、友好都市・海外訪問など様々な体験教育、農業、ICT、技術職などの技術教育、町内イベントインターン等の体験教育を実行する。 1. (農育) 河内町の主産業である農業の体験学習により、農業の産業としての重要性や農作物をつくる喜び、面白さを理解してもらう。 2. (花育) 花育については、校庭のほか、学校に至る道路の両脇に、花育、樹育も兼ねて児童・生徒たちに植樹、育成をさせ、景観を子どもたちの手で形づくっていく。 4. (フィルムコミッション) フィルムコミッションで誘致されたテレビ、CM、映画などのエキストラ参加を通して、映画製作を体験する。									
ビジュアルイメージ	 ハワイでの交流における調理風景									
達成度指標	－									
現状 KPI	－		5 年後 KPI	－						
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	5		区分	人						
テーマ番号	I－1		テーマ	教育						
アクションプラン (何を)	ふるさと学習「かわち学」									
担当部署 (だれが①)	教育委員会		関連部署(だれが②)	—						
実施場所(どこで)	小中一貫校		対象者(だれに)	小中学生						
アクションプラン 戦略(どのように)	小中一貫校を中心として、地域の歴史教育としての「かわち学」教育に力を入れ、ふるさとの歴史を勉強することで、子どもたちの河内町への郷土愛を高める。平成 30 年度から「かわち学」教育をはじめ、適宜内容の充実を図る。 1. (「生活体験教育、道徳教育」) 金江津小学校を中心に、戦前盛んだった「生活体験教育、道徳教育」にもう一度光を当て、職業体験教育、道徳教育によりふるさとの歴史教育に生かし、河内町の教育を特徴づける。 2. (町の歴史の掘り起こし) これら「かわち学」の整備を皮切りに、町の歴史を掘り起こし、資料整理、郷土史の深化を促す。									
ビジュアルイメージ	 いばらきっ子郷土検定									
達成度指標	—									
現状 KPI	—		5 年後 KPI	—						
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	6		区分		人					
テーマ番号	I－1		テーマ		教育					
アクションプラン (何を)	通学路安全確保対策									
担当部署 (だれが①)	教育委員会		関連部署 (だれが②)		—					
実施場所(どこで)	河内町全域		対象者(だれに)		小中学生					
アクションプラン 戦略(どのように)	教育委員会と町民、警察が協力し、通学路の安全確保を行う。教育委員会他役場の関係者、警察、工事事務所と連携し、年2回通学路の合同点検を行う。通学バスの安全な運行と自転車通学者の安全な道路環境の整備を図る。									
達成度指標	年間合同点検回数									
現状 KPI	0回		5年後 KPI		10年後 KPI					
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	7				区分				ひと			
テーマ番号	I－1				テーマ				教育			
アクションプラン (何を)	こども園、小学校職員の連携を深める											
担当部署 (だれが①)	教育委員会				関連部署(だれが②)				子育て支援課			
実施場所(どこで)	小中一貫校、 認定こども園				対象者(だれに)				園児、小学生			
アクションプラン 戦略(どのように)	認定こども園に変わり、以前より小学校と認定こども園の連携が弱まっているため、年３回の園小連絡会の内容を深め、小学校に進級時の情報共有及び園児と児童の交流等を積極的に行い、こども達の認定こども園から小学校へのスムーズな移行を目指す。											
達成度指標	年間園小連絡交流会回数											
現状 KPI	1 回		5 年後 KPI		2 回		10 年後 KPI		3 回			
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026		

アクションプラン番号	8				区分		ひと			
テーマ番号	I－1				テーマ		教育			
アクションプラン (何を)	教育課程への対応									
担当部署 (だれが①)	教育委員会				関連部署 (だれが①)		－			
実施場所(どこで)	小中一貫校				対象者(だれに)		小中学生			
アクションプラン 戦略(どのように)	小中一貫校の特徴を生かし、5・6年生からの一部教科担任制の拡大を行い、教育の専門性を高め、カリキュラムの一部前倒しも検討し教育の質を高める。									
達成度指標	教科担任制教科数									
現状 KPI	0		5 年後 KPI		1		10 年後 KPI		3	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	9		区分		ひと					
テーマ番号	I－1		テーマ		教育					
アクションプラン (何を)	特別支援教育の充実									
担当部署 (だれが①)	教育委員会		関連部署 (だれが②)		—					
実施場所(どこで)	小中一貫校		対象者(だれに)		小中学生					
アクションプラン 戦略(どのように)	障がい児教育の専門機関である茨城県立美浦特別支援学校とも連携し、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援体制を充実させる。									
達成度指標	特別支援体制の充実度評価（保護者の実感調査による）									
現状 KPI	資料なし		5 年後 KPI		10 年後 KPI		8 0 %			
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	10				区分		ひと				
テーマ番号	I－1				テーマ		教育				
アクションプラン (何を)	福祉教育の推進										
担当部署 (だれが①)	教育委員会				関連部署(だれが②)			—			
実施場所(どこで)	小中一貫校				対象者(だれに)			小中学生			
アクションプラン 戦略(どのように)	一般の方々と共同し、福祉行事や、福祉センター等でのボランティア活動、体験教育を通じて、福祉教育の充実を図る。										
達成度指標	年間福祉体験回数										
現状 KPI	0 回／人			5 年後 KPI		1 回／人		10 年後 KPI		2 回／人	
開始時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	

アクションプラン番号	11				区分		ひと			
テーマ番号	I－1				テーマ		教育			
アクションプラン (何を)	学校設備の充実									
担当部署 (だれが①)	教育委員会				関連部署(だれが②)		—			
実施場所(どこで)	小中一貫校				対象者(だれに)		小中学生			
アクションプラン 戦略(どのように)	小中一貫校の建設とあわせて、新設校舎の設備充実、機能保全を行い、児童生徒にとって最適な環境をつくる。(教育設備、I C T 設備、図書館蔵書他)									
達成度指標	P T A からみた学校設備の充実度評価「満足」									
現状 KPI	資料なし		5 年後 KPI		5 0 %		10 年後 KPI		8 0 %	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	12				区分				ひと		
テーマ番号	I - 1				テーマ				教育		
アクションプラン (何を)	防犯対策										
担当部署 (だれが①)	教育委員会				関連部署(だれが②)				—		
実施場所(どこで)	小中一貫校				対象者(だれに)				小中学生		
アクションプラン 戦略(どのように)	小中一貫校の開設と合わせ、警察だけでなく、町民やボランティアと共同し、子ども 110 番の家、見守りボランティアなどを充実させ、町全体で子供たちに対する防犯体制を強化する。 また、防犯カメラ等の活用により、不審者対策を強化する。										
達成度指標	子ども 110 番の家登録数										
現状 KPI	273 件			5 年後 KPI		290 件		10 年後 KPI		300 件	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	

アクションプラン番号	13	区分	人							
テーマ番号	I－1	テーマ	教育							
アクションプラン (何を)	食育の推進									
担当部署 (だれが①)	教育委員会	関連部署(だれが②)	—							
実施場所(どこで)	小中一貫校	対象者(だれに)	小中学生							
アクションプラン 戦略(どのように)	週4回の米飯給食については、かわち産の米を使用している。米以外の食材でも、かわちで採れる食材を使った給食を提供する。 1. (伝統料理の食育) 家庭科、かわち学等による、かわちならではの伝統的料理の食育を行う。 2. (地元食材による食育) かわち産のコメ以外の食材を生かした食育を行う(レンコン等) 3. (6次化商品による食育) 「米ゲル」を生かした給食の提供とあわせ工場見学などの食育を行う。									
ビジュアルイメージ	 地域農産物・6次化商品・伝統食を通じた食育									
達成度指標	地域農産物・6次化商品・伝統食の給食提供回数									
現状 KPI	月0回	5年後 KPI	月1回	10年後 KPI	月2回					
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	14	区分	ひと							
テーマ番号	I - 1	テーマ	教育							
アクションプラン (何を)	町民への生涯学習									
担当部署 (だれが①)	教育委員会	関連部署 (だれが②)	－							
実施場所(どこで)	小中一貫校	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン 戦略(どのように)	生涯学習を推進する上で、現在、町民の中で講師ができる人をメインターゲットとした公募型の講座を実施しており、平成 28 年度は 1 件新たに開催している。今後も、各種媒体を通じ講師及び参加者の募集を行う。 生涯学習の啓発や各種情報の提供について、随時ホームページ上に掲載し情報を発信する等、告知方法を検討し、講師と生徒にとって使いやすい環境を構築する。									
ビジュアルイメージ	 生涯講座の実施を予告									
達成度指標	講座件数									
現状 KPI	年 1 回		5 年後 KPI		年 5 回		10 年後 KPI		年 1 0 回	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	15	区分	ひと							
テーマ番号	I－1	テーマ	教育							
アクションプラン (何を)	「かわち学びすと」の育成・活用									
担当部署 (だれが①)	教育委員会	関連部署 (だれが②)	—							
実施場所(どこで)	小中一貫校	対象者(だれに)	小中学生、町民							
アクションプラン 戦略(どのように)	退職された方を対象に、それぞれ活躍された分野を生かしてもらうため、広報紙やホームページを通じて募集し、新たに「かわち学びすと」として登録する。学校からの依頼で子どもたちにそれぞれの知識や技術を提供するほか、要望に応じて、学校のほか生涯学習の講師としても活躍を期待することができる。									
ビジュアルイメージ	 「かわち学びすと」による茶道の講習									
達成度指標	「かわち学びすと」としての知識提供回数									
現状 KPI	1回／月		5年後 KPI		3回／月		10年後 KPI		5回／月	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	16				区分		ひと				
テーマ番号	I－1				テーマ		教育				
アクションプラン (何を)	青少年の健全育成										
担当部署 (だれが①)	教育委員会				関連部署(だれが②)			—			
実施場所(どこで)	小中一貫校				対象者(だれに)			町民（青少年）			
アクションプラン 戦略(どのように)	町内の青少年に向けた様々な体験事業を検討する。教育委員会だけではなく、各種団体、他課の協力を得て青少年と事業を行う。また、「かわち学びすと」なども活用し、町全体で青少年を育成する。 体験型の事業について事業展開を検討。また、地域における青少年の活躍の場を提供する。										
達成度指標	体験型の事業件数										
現状 KPI	1 件／年			5 年後 KPI		2 件／年		10 年後 KPI		3 件／年	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	

アクションプラン番号	17	区分	ひと							
テーマ番号	I－1	テーマ	教育							
アクションプラン (何を)	多世代にわたるスポーツ・レクリエーション活動の活性化									
担当部署 (だれが①)	教育委員会	関連部署(だれが②)	—							
実施場所(どこで)	河内町全域	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン 戦略(どのように)	町民運動会や新たなスポーツイベントを中心に子供から高齢者に至るまで気軽に参加できる内容を検討する。また、関係団体などと連携しながら、新たな切り口のスポーツイベントの開催を目指す。									
ビジュアルイメージ	 多世代にわたるスポーツ活動									
達成度指標	三世代で気軽に参加できるスポーツイベントの回数									
現状 KPI	1回／年		5年後 KPI	2回／年		10年後 KPI		3件／年		
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	18	区分	ひと							
テーマ番号	I－1	テーマ	教育							
アクションプラン(何を)	伝統・地域文化の保存									
担当部署(だれが①)	教育委員会	関連部署(だれが②)	—							
実施場所(どこで)	河内町全域	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン戦略(どのように)	高齢化が進み伝える側が減少する中で、デジタルデータを活用するなどして地域文化の継承を図る。 1. (河内町の地域文化の継承) 紙媒体である「河内の歴史」を電子データにすることにより、統合小中学校などの授業に活用することで地域文化の継承を図る。 2. (町の伝統行事の映像記録保存) かわち町伝統のお祭りの映像記録化や、町の古老へのヒアリングを行い、町の伝統を記録として残すことも検討する。									
ビジュアルイメージ	 河内町伝統行事「どんと祭り」									
達成度指標	伝統文化、地域文化のデジタルデータ化									
現状 KPI	0%		5 年後 KPI	100%		10 年後 KPI	100%			
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	19	区分	ひと							
テーマ番号	I－1	テーマ	教育							
アクションプラン(何を)	海外交流の推進									
担当部署(だれが①)	教育委員会	関連部署(だれが②)	—							
実施場所(どこで)	河内町全域	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン戦略(どのように)	1. (異文化体験) 地域又は近隣に住む外国人を講師として依頼し、小学生などの親子を対象とし、講師の母国の家庭料理などを作りながら異文化を体験することで、外国の文化、言葉に対し興味を持たせる。 2. (英語の生涯学習) 生涯学習講座による外国語講座等を実施し外国の方と触れ合う機会を増やす。									
ビジュアルイメージ	 海外での英会話体験学習									
達成度指標	生涯学習講座による外国語講座数									
現状 KPI	0 件		5 年後 KPI		2 件		10 年後 KPI		3 件	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	20	区分	人							
テーマ番号	I－2	テーマ	人材育成 (しごと・まちづくり)							
アクションプラン (何を)	学校から学校へ～空き校舎利用の「プロフェッショナル育成スクール」									
担当部署 (だれが①)	教育委員会	関連部署(だれが②)	—							
実施場所(どこで)	河内町全域	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン 戦略(どのように)	平成 29 年 4 月以降に河内町内の小中学校が順次統合する予定で、町内には計 6 校の空き校舎ができる。そこで、空き校舎を利用した建設・製造技能者教育訓練センター、体育学校、農業園芸訓練学校との提携（いずれも計画）による「プロフェッショナル育成スクール」を設立し、介護労働者（海外からの研修生含む）、建設・製造技能者、スポーツインストラクター、農業技術者、ドローン技術者等を育成して、地元で雇用し活躍できる場を提供する。 1. （建設・製造技能者育成） 建設・製造技能のプロを育成して地元で雇用 2. （海外からの介護研修生育成） 海外介護研修生受入し、宿泊の場提供 3. （スポーツインストラクター育成） スポーツインストラクター育成し地元で雇用 4. （農業技術者育成） 農業技術者を育成して、地元で雇用 5. （ドローン技術者育成） 農業利用できるドローン技術者を育成する。									
ビジュアルイメージ	 建設技術者育成									
達成度指標	スクール設立による雇用増加									
現状 KPI	0 人/年		5 年後 KPI		3 人/年		10 年後 KPI		10 人/年	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	21	区分	人							
テーマ番号	I - 2	テーマ	人材育成 (しごと・まちづくり)							
アクションプラン (何を)	大学等との連携・まちづくりプロジェクト等支援インターン受入れ									
担当部署 (だれが①)	企画財務課	関連部署(だれが②)	教育委員会							
実施場所(どこで)	河内町全域	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン 戦略(どのように)	今、地方創生への注目度もあり、特に地方の大学で地域経済学や、まちづくりを専攻・研究している学生・研究者が増えている。そのような状況を踏まえ、地元出身者の多い近隣大学他、学生・研究者のまちづくりインターン・農業振興インターン受入れを行う。インターンの募集は町の広報誌、当町からこれまでに進学した各大学の掲示板の他、「かわちポータルサイト(仮)」にて行う。 1. (インターンの受け入れ) 役場で仕事体験をすることで、行政の実情を知ると同時に、河内町を知り、まちに愛着を持ってもらう。 2. (インターンの意見を生かす) 役場のインターン体験の終わりにレポートを提出してもらい、河内町への提案を出してもらう。 3. (役場以外の商工会、民間企業へのインターンあっせん) 同時に、役場以外の町内企業に対するインターン紹介、あっせんも行う。									
ビジュアルイメージ	 まちづくり発表会									
達成度指標	まちづくりインターン受け入れによる雇用増加									
現状 KPI	0 人/年	5 年後 KPI	2 人/年	10 年後 KPI	5 人/年					
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	22	区分	人							
テーマ番号	I－2	テーマ	人材育成 (しごと・まちづくり)							
アクションプラン (何を)	まちづくり実行プロジェクトへのボランティア参加呼びかけ									
担当部署 (だれが①)	企画財務課	関連部署(だれが②)	教育委員会							
実施場所(どこで)	近隣各所	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン 戦略(どのように)	前述した大学生インターンに加え、近隣の中学生・高校生・その他若者・高齢者などに「まちづくり実行プロジェクト」へのボランティア参加を呼びかける。まちづくり体験の場を通して、河内町の存在をアピールし、町外の河内町サポーターを増やす。 1. (「かわちポータルサイト(仮)」からの呼びかけ) ポータルサイトから、まちづくりボランティアを呼びかける。イベント情報を流すことで、各イベントのボランティア募集を行う。まちづくりやイベントへのちょっとした参加から、町に興味を持ってもらうことを意図する。 2. (近隣大学等への呼びかけ) 近隣の学校等に、まちづくりボランティア募集のチラシを配布し、学校掲示板等にて周知する。 3. (まちづくり組織設立) まちづくり組織設立及び育成を推進する。									
ビジュアルイメージ	 まちづくりボランティアの参加									
達成度指標	まちづくりボランティア受け入れによる雇用増加									
現状 KPI	0人/年	5年後 KPI	2人/年	10年後 KPI	5人/年					
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	23				区分				人			
テーマ番号	I－3				テーマ				定住促進 豊かなくらしづくり			
アクションプラン (何を)	男女共同参画社会の実現											
担当部署 (だれが①)	秘書広聴課				関連部署(だれが②)				—			
実施場所(どこで)	河内町全域				対象者(だれに)				町民			
アクションプラン 戦略(どのように)	平成 34 年に河内町男女共同参画基本計画を新たに策定し、男女共同参画社会形成の一層の加速を目指し、家庭・職場・地域及び教育といったあらゆる分野での広報・啓発活動を推進する。											
達成度指標	町の設置する各審議会等への女性委員等の登用率 30%											
現状 KPI	21%		5 年後 KPI		30%		10 年後 KPI		30%			
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026		
												

アクションプラン番号	24	区分	人							
テーマ番号	I－3	テーマ	定住促進 豊かなくらしづくり							
アクションプラン (何を)	里帰り転入への助成制度									
担当部署 (だれが①)	企画財務課	関連部署(だれが②)	町民課							
実施場所(どこで)	河内町全域	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン 戦略(どのように)	圧倒的に未就学児同伴が多くなっている。これは小学校入学後の「転校を伴う移転を嫌う」などの理由が垣間見える。その意味では、「未就学児を持つ家族」が里帰りしやすい環境づくりをすることが、転入者増加のポイントであることが見て取れる。そこで、子ども世帯がUターンなどの『里帰り転入』をした場合には、特典を用意。『里帰り転入』への助成にあたっては、住宅新築・増築・リフォーム等の条件付きとする。 1. (『里帰り転入』助成制度制定) 上記『里帰り転入』助成制度を立ち上げる。 2. (『里帰り転入』制度PR) 学校卒業後の転出者及び転出者の実家に対して制度導入をダイレクトメール（DM）等で広報する。 3. (『空き家バンク』での転入サポート) 河内町への里帰りを希望する家族の転入を『空き家バンク』も活用し、スムーズな転入を応援する 4. (『郷土愛教育』) 小中一貫校での「かわち学」やキャリア学習等による郷土愛教育により、将来の河内町への里帰りの道付けをする。 5. (『お米券等の特典』) 里帰り転入時の特典として、お米券等この地域ならではの特典を用意する。									
ビジュアルイメージ	 里帰り									
達成度指標	里帰り他転入者の増加									
現状 KPI	0人/年		5年後 KPI		6人/年		10年後 KPI		10人/年	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	25	区分	人							
テーマ番号	I－3	テーマ	定住促進 豊かなくらしづくり							
アクションプラン (何を)	「空き家」から始まる「カントリーライフ希望者」への支援サービス									
担当部署 (だれが①)	企画財務課	関連部署(だれが②)	経済課							
実施場所(どこで)	河内町全域	対象者(だれに)	転入者等							
アクションプラン 戦略(どのように)	首都圏に近いイナカというメリットを生かした身近な「カントリーライフの体験・実現」をキャッチフレーズにした支援サービスの実施を行う。 1. (「空き家バンク」の設置)高齢化に伴い、空き家が増えている実情を踏まえ、町から外向けのサービス向上の手段として、空き家の登録、移住、活用のあっせん、改修等の支援を行う、「空き家バンク」の設置と、外向けの情報サービスとしての「空き家情報」サイトの設置を検討する。 2. (首都圏からのイナカ体験移住の受入れ)手近に味わえる「カントリーライフ」の体験移住の受入れを開始する。									
ビジュアルイメージ	 「カントリーライフ」の実現									
達成度指標	里帰り他転入者の増加									
現状 KPI	0人/年		5年後 KPI		6人/年		10年後 KPI		10人/年	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	26	区分	人							
テーマ番号	I－3	テーマ	定住促進 豊かなくらしづくり							
アクションプラン (何を)	男女の出会いの場づくり									
担当部署 (だれが①)	福祉課	関連部署(だれが②)	社会福祉協議会 企画財務課							
実施場所(どこで)	河内町全域	対象者(だれに)	独身者							
アクションプラン 戦略(どのように)	イベントや地元若者との農業体験での出会いの場の創出支援、初婚・再婚問わず、商工会女性部「おせっかいおばちゃん」による引き合わせ支援、「いばらき出会いサポートセンター」と連携し、県内の交流イベントの紹介等を積極的に行う。 1. (イベント等での出会いの場の創出支援) 初婚・再婚問わず、町内のまちづくりイベントや農業体験に参加し、共に汗を流す出会いの場を創出する。 2. (「おせっかいおばちゃん」による引き合せ支援) 商工会女性部の支援を得て、「おせっかいおばちゃん」による男女の引き合わせ支援を行う。 3. (「いばらき出会いサポートセンター」との連携) 県内の出会いの場づくりなどセンター独自の企画等の情報を発信する。									
ビジュアルイメージ	 男女の出会いの場づくり									
達成度指標	年間結婚組・転入数									
現状 KPI	0組/年		5年後 KPI		4組/年		10年後 KPI		10組/年	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	27				区分			人		
テーマ番号	I－3				テーマ			定住促進 豊かなくらしづくり		
アクションプラン (何を)	自主財源の確保									
担当部署 (だれが①)	企画財務課				関連部署(だれが②)			秘書広聴課		
実施場所(どこで)	河内町全域				対象者(だれに)			町民等		
アクションプラン 戦略(どのように)	県内でも人口と財政規模では下から数えて1、2番目を争うことに加え、人口減少傾向が続いている。そこで、引続き自主財源の確保のため、課税客体の適切な把握と収納率の向上に努める。 その他、ふるさと納税制度の活用や広報誌の広告収入を自主財源に充てる。									
達成度指標	収納率									
現状 KPI	92.9%		5 年後 KPI		95.0%		10 年後 KPI		96.0%	
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

アクションプラン番号	28	区分	人							
テーマ番号	I - 4	テーマ	文化・スポーツ (コミュニティづくり)							
アクションプラン (何を)	地域に特化したスポーツ教育									
担当部署 (だれが①)	教育委員会	関連部署(だれが②)	－							
実施場所(どこで)	近隣各所	対象者(だれに)	町民							
アクションプラン 戦略(どのように)	小中一貫校への学校統合による児童・生徒数の増加により、これまでできなかったようなスポーツ教育が可能となる。住民アンケートによると、スポーツ教育に力を入れてほしい、との要望が大きいことから地域に特化したスポーツ教育を実施する。いくつかの競技が強化され、県大会等で入賞すれば、選手本人や保護者・コーチのモチベーションも上がり、さらに上位の成績を収めれば、町のPRにもなる。 1. (コーチングボランティア) 教員のほか、PTA・学校OB・その他スポーツ経験者など、町でも広くコーチング可能な人材を募集する。 2. (強化スポーツの特化) 小中一貫校の児童・生徒数規模、コーチ陣、これまでのスポーツ歴にあわせて、スポーツ強化の特化を行う。									
ビジュアルイメージ	 コーチングボランティア									
達成度指標	まちづくりボランティア受け入れによる雇用増加									
現状 KPI	0人/年		5年後 KPI	2人/年		10年後KPI		5人/年		
時期(年目)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026